



三船

令和5年度
学校便り

始良市立三船小学校
7月3日 No.4



思いやりの心



三船小学校長 川原 典明

朝、立哨指導をしていると児童が「これが落ちていました。」と落とし物を持ってくることがあります。「これを落とした人が困っているかも。」という優しさの表れでしょう。また先日、立哨指導の途中で雨が降りそうになると、持っていた傘を「これ使いますか。」と渡してくれた5年生もいました。「ああ、本当に感心な子だなあ。」と思うことでした。「心の優しさと豊かさの育成は家庭と学校の相互作用の賜物だろうか。」そんなことを考えて校内を巡視していると、トイレのスリッパの乱れを手で直している2年生を見かけました。普通はそのままにしていたりするものですが、次の利用者のために丁寧に直してくれていたのです。このように自主的に善いことをしたり、思いやりあふれる行為が自然にできる児童の姿に触れたりすることができるのは大きな喜びであり、感動の瞬間でもあります。

では、子供たちの思いやりの心や規範意識などの豊かな人間性や社会性を育むためには、何が必要なのでしょう。

鍵となるのは体験活動です。アリストテレスが「人間は社会的動物である」と言ったのは、人間は、自己の自然本性の完成を目指して努力しつつ、ポリス的共同体（善く生きることを目指す人同士の共同体）をつくることで完成に至るということだと解釈されています。つまり一人一人が自分という存在を高めるために日々努力し、自我を確立していきますが、そこには他者との関わりや社会、自然環境の中での様々な体験活動をとおして、一人一人が自らの課題を乗り越えるために、他者と協働して何かを成し遂げる体験活動が不可欠であり、そうした体験活動の中で思いやりの心や規範意識を高めることができると言いたかったのではないのでしょうか。

学校で田植えやいも植え等の農業体験や掃除や係・委員会の異年齢体験、ボランティア活動やお年寄りとの交流体験等々、様々な体験活動を実施しているのも子供の心を豊かにし、思いやりの心や規範意識を高めるために大切だと捉えているからです。

また、読書も効果的です。本の世界での擬似体験をとおして、知識を広め、心を豊かにするなど、人生をより良く生きるために欠かせないものです。

もうすぐ夏休みが始まります。子供たちにとって様々な体験活動ができる貴重な時です。多くの体験活動の機会を与えてくれたらと思います。子供の心を揺さぶる体験活動が、きっと子供たちを一回りも二回りもたくましく優しく成長させていってくれることでしょう。

伝説の少女「水口ゆきえ」に学ぶ

6月10日に4年生で地域を潤す用水の歴史を学ぶ授業が行われました。授業をしてくださったのは、地域にお住まいの恒見健一さんと宮國里香さんです。地図や紙芝居を使って18世紀に開通した中津野用水の話をしてくださいました。用水路をつくろうと考えたのは水口ゆきえです。ゆきえは、山田川から水が引けることを知り、大人を説得しながら難工事に挑み、協力者が減っても諦めず、岩を掘り抜き、約4キロの用水路を完成させました。子供たちはゆきえの勇気ある姿に目を輝かせながら話を聞いていました。当日は保護者の方も参加して熱心に聞いていました。恒見さん、宮國さん、素晴らしい授業をありがとうございました。



海水から塩ができて、びっくり!!



6月22日に3年生が塩づくり体験を行いました。講師は住吉にお住まいの黒江学さんです。子供たちは濃縮された海水が蒸発して塩になる瞬間を見て、大きな歓声をあげていました。出来立ての塩をなめると「辛い！でも甘い！」と大はしゃぎ。黒江さんはその塩を使って、塩煎餅まで焼いてくださいました。パリパリと美味しそうに煎餅をほおぼる子供たち。黒江さんは子供たちに出来立ての塩をプレゼントしてくださいました。最後に黒江さんから、この塩を使っておにぎりを作り、家族で楽しく会話をしてほしいと熱く語られました。黒江さん、本当にありがとうございました。

< 7・8月行事 >

日	曜	7月行事予定	日	曜	7月行事予定
2	日	校区スポーツ大会(モルック)	11	火	委員会活動
4	火	クラブ活動	12	水	学校評議委員会
5	水	青少年育成部会・スクールゾーン委員会	14	金	県民の日・プール掃除(6年)
7	金	水泳授業参観・学級PTA・救命講習会	20	木	終業式・大掃除
8	土	土曜授業日・集団下校	26	水	国体炬火リレー
10	月	着衣水泳	27	木	市小学校水泳記録会(霧島市)

日	曜	8月行事予定	日	曜	8月行事予定
1	火	出校日	21	月	出校日・蒲生太鼓踊り
11	金	山の日	27	日	PTA奉仕作業 資源回収 PTA三役会
13	日	学校閉庁日(~15日)			(荒天時は9月3日(日)に延期)

